



2009. May VOL.45 「Nothing venture, nothing again.」(冒険しなければ、得るものはない。)

■はじめに

みなさんこんにちは。MTG スタッフの藪内です。タイトルの意味は、なにがしかの危険やリスクを冒すことなく、成果を得ることはできないということです。みなさんはどのようなことにチャレンジしていますか？失敗を恐れず、いろんなことにチャレンジしていくってかっこいいですね！僕もそんな人になりたいです。さて、今月は、「海外ボランティアのお仕事」、「今月の MTG」の2つの記事をお送りします。

それでは今月のMTG通信をお楽しみください。また、HPからもご覧になれます。

<http://www.med.kutc.kansai-u.ac.jp/~meetg/BackNumber/index.htm>

☆☆今月のトピックス☆☆

■海外ボランティアのお仕事

今月から、MTGに参加されている海外ボランティアの方々を紹介していきます。

■今月の MTG

今月は、今年度一回目の勉強会の模様をお伝えします。



■海外の受験制度

こんにちは！MTG スタッフの吉元と花田です。

日本では、新学期が始まり 1 カ月以上が過ぎました。ようやく新しい環境に慣れてきたのではないのでしょうか。

さて、今回は、いつもの季節にちなんだテーマとは視点を変え、海外でボランティア活動を行っている隊員のみなさんを少しでも多くの人に知ってもらおうということでインタビューさせていただきました！どんな隊員さんがいるのでしょうか！

—池田 真理子さん—

①赴任先とお仕事を教えてください。

赴任先 ベトナム社会主義共和国、ダラット市、ダラット森林公園公社
仕事(職種) 環境教育

②協力隊に入ろうと思ったきっかけはなんですか？

- ・(これまで仕事とは別に、週末や祝日にボランティア活動としてやってきた)環境教育の事業に没頭して活動を行いたかったため
- ・自分の周りの友人で、尊敬する人が協力隊を経験しており、勧められたこと
- ・経済的な支援
- ・強力な安全管理などのサポート体制

③赴任する前と後でギャップはありましたか？

・必ずしも隊員の技術や知識が役立てられる環境が整っているわけではない、ということ。整っていないケースがほとんど？

補足：・配属先に事業を始める態勢(現地の同僚の時間や予算)がない。そこで、協力隊がひとりで事業を始めてもそれをサポートする余力がない

・配属先が求めるものと、協力隊が提供できる技術や知識が一致していないケースも・・・など ➡

④仕事上嬉しいことはなんですか？

- ・自分のがんばりを認めてもらえた時
- ・つらい時に、現地の人々が支えてくれたり、サポートしてくれたり文化や習慣は違っても、心から信頼できる友を作れること

⑤仕事上辛いことはなんですか？

- ・ストレスを発散できる場面が少ないこと
- ・言葉がうまく話せないこと

⑥今後の目標を教えてください。

- ・配属先の要求にもっと応えられるようになること
- ・言葉をもっと使いこなせるようになること

(提供:平成 19 年度 4 次隊 ベトナム 環境教育 池田真理子さん)



—尾関 亜弓さん—

①赴任先とお仕事を教えてください。

カンボジア
家政隊員としてカンダール中等教員養成校の家庭科の免許を取得するコースの生徒の家庭科の授業に実習をとりいれる。

②協力隊に入ろうと思ったきっかけはなんですか？

私自身を人のために使う余裕があったから。

③赴任する前と後でギャップはありましたか？

はい。 ➡

④仕事上嬉しいことはなんですか？
笑顔。

⑤仕事上辛いことはなんですか？
虚無感。

⑥今後の目標を教えてください。
残りの活動の目標は、授業規律の確立。
パン焼釜をつくり、パンをやる。
実習意外の授業や教育実習へ行き、改善を提案する。
残りの生活の目標は、手に入れた物の有効利用、整理整頓。
帰国後の残りの人生の目標は、健康。
人生の最後まで、ちゃんと生きる、
(提供:平成20年度1次隊 カンボジア 家政 尾関亜弓さん)



—濱田 正章さん—

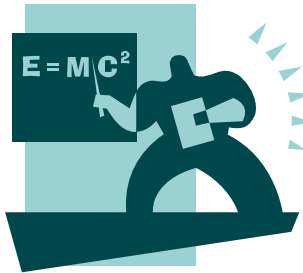
①赴任先とお仕事を教えてください。
・フィリピン、ケソン州サリアヤ町
・主に、地元の農村女性をメンバーとする組合にて、メンバーの所得向上に繋がる活動を行う。
・組合の商品は、マロンガイ(モリンガ茶)、ココジャム、ヴァージンココナツオイル等。
・現在の主要な活動は組合の会計指導と販路開拓。
・その他、組合の計画的・機能的な運営についての企画、地元住民の生活向上に繋がる何らかの活動等、幅広く活動を行う。

②協力隊に入ろうと思ったきっかけはなんですか？
・将来的に国際協力・国際交流の分野で仕事をしたかった。
・語学訓練や各種の制度、自分の知識・技術レベルから 協力隊参加を選択。

③赴任する前と後でギャップはありましたか？
・任地が思った以上に田舎であったこと。
・川でシャワーを浴びること。
・毎日お酒を飲むこと。
・家族の繋がりが本当に強く温かいこと。

④仕事上嬉しいことはなんですか？
・普段の任地の人々との交流やホームステイでの生活が一番楽しい。
・友達や組合の一員、任地の仲間として認識してもらえること。
(仕事において、現在は今後の活動の為の足場固めの段階)

⑤仕事上辛いことはなんですか？
・語学、コミュニケーション。伝えたいことを伝えるのに、日本の何倍もの時間がかかる。
・自分の知識レベルが足りない。(基礎的な知識、フィリピンの制度やルール、等)



⑥今後の目標を教えてください。
・2年間を通して、何らかの具体的な成果を挙げる事、若しくはその土台を作ること。
(スタッフの給料が増えた、組合に参加したいと思う人が増えた、メンバーの子どもが進学できた、等々何でも良い)
・お金、仕事、生活力等について、自分の考え方を少しでも伝えること。
・2年後(だけでなく、将来いつか)「ボランティアがいて良かった」と配属先の人に思ってもらえること。
(提供:平成20年度2次隊 フィリピン 村落開発普及員 濱田正章さん)

—宮本 優子さん—

②赴任先とお仕事を教えてください。
バングラデシュ、コックスバザール市、郡リソースセンター(郡内の小学校に勤める先生たちが教科ベースの短期研修を受けにくる施設)
トレーニング中に時間をもらい「授業づくりで大切にしてほしいこと」や「教具の作り方・使い方」について説明したり併設されているモデル小学校で算数を中心に授業づくりや学校全体の学習環境づくりについて先生たちと話し合ったりしています。算数の授業にはTTで参加することもあります。

③協力隊に入ろうと思ったきっかけはなんですか？
中学生のころから協力隊については知っていてあこがれていましたが、自分とは違う世界のことだと思っていました。教員になって総合的な学習などで隊員 OBOG に会う機会が何度かあり、さらに憧れを強めていたところに、教員をしている親友が協力隊に応募することになり、現職教員特別参加制度のことを知りました。憧れだったものが自分に近づいてきたように感じ「今しかない」と思い参加しました。

④赴任する前と後でギャップはありましたか？
仕事のことをどんどんしていきたいと思っていましたが、まずはじっくり聞いてもらえる人間関係をつくるのが大事なんだと思うようになりました。先生たちの性格に合わせてアプローチをかえたり、生活の状況を知って無理は言わないようにしたり・・・結局は人間同士の付き合いなんだなと思います。

⑤仕事上嬉しいことはなんですか？
一番うれしいことは、モデル小学校の先生たちが「ゆうこのおかげで教具を作ったり授業についてかんがえたりすることが楽しくなってきた」と言ってくれたこと。ほかには、同じくモデル小学校の子どもたちが「日本の友達はどうしているだろう?」「ぼくたちの友達が日本にいる」など、会ったことのない私の勤務校の子どもたちのことを「友達」と呼んでくれること。私を通してつながっているとかんじていてくれることがうれしいです。

⑥仕事上辛いことはなんですか？
教育用語の語彙が足りなくて伝えたいことがうまく伝わらないこと。ベンガル語がスムーズに出てこないために、話を聞こうともしてくれない人もいること。(ま、私の努力不足ですが。)

⑦今後の目標を教えてください。
「友達」と呼んでいるバングラデシュと日本の子どもたちがほんとうにつながれるような何かを企画したいと思っています。まずは、絵の交換。
先生たちには「子どもが学びの中心となる授業」を提案するために他の隊員と協力してワークショップをすることになっています。「どう教えるか」から「どう学んだか」と子どもを中心にとらえた考え方で授業づくりをできる先生が増えるといいなと思います。
(提供:平成20年度1次隊 バングラデシュ 小学校教諭 宮本優子さん)

今月はいつもとは違い、隊員さん自身のことや活動についてお話を聞きました！
隊員さんがどのような活動をしていて、どんなことを感じながら日々過ごしているのか、普段なかなか聞く機会がありません。今回インタビューをさせていただき、私たちスタッフも隊員さんのことを知る良いきっかけとなりました。

今後ももっとたくさんの隊員さんにインタビューを行い、学校の先生方にはより隊員さんについて知っていただき、また隊員さんにはご自身と照らし合わせて読んでいただけたらいいと思います。

■MTG通信担当より

この「MTG通信」はMTGメンバーがボランティアで制作します。このメールマガジンでは、Meet the GLOBE Project 参加校の交流学习の取り組みや協力隊員の方の活動内容などを取り上げて、報告していきたいと考えています。

みなさんにご協力をお願いすることもあると思われませんが、その際にはご協力お願いします。また、よりよい「MTG通信」作成ため、ご意見・ご感想・ご提案がありましたら気兼ねなく、下記のアドレスまでよろしくをお願いします。

また MTG 通信担当では、MTG通信をより良く皆様にお届けするために、皆様からの声を広く募ります。レイアウト、内容に関するご意見、ご感想やささいな質問でも結構です。何かありましたら下記のメールアドレスまでよろしくをお願いします。

— mtg-magazine@hotmail.co.jp

■今月の MTG

こんにちは。MTG スタッフの近藤です。今月は、私達 MTG スタッフは交流を開始した学校のサポートやミーティングをこなしつつ、先月号で紹介した新メンバー(大城・細見)を加えて今年度一回目の勉強会を行いました。今回はその模様をお伝えしようと思います。

今回の勉強会は、まず三回生によるアイスブレイクから始まりました。アイスブレイクというのは、参加者同士の間での抵抗感を軽減させるために行うグループワークで、簡単に言うと仲良くなるためのゲームのようなものです。

アイスブレイクでスタッフ間の雰囲気をよくした後は、三回生の国際理解の一環として、四回生から青年海外協力隊に関する講習を行いました。MTG に参加して下さっているボランティアの方のほとんどは青年海外協力隊員の方なので、協力隊に関する知識を得ることはプロジェクト活動を円滑に行うためにもとても重要なことです。

その後は、これも交流支援を行う上で重要なスカイクの講習を行い、今回の勉強会は終了しました。勉強会の後は、スタッフ間の団結を強めるために食事会も行いました。今年度は、このような勉強会を頻繁に行うことも活動目標の一つとしているので、この勉強会を通してスタッフ同士の関係も向上させ、また活動を行うために必要な知識を得て、より良い活動ができるように努めていきたいと思っています。



発行・編集: Meet the GLOBE Project

スタッフ: 関西大学・大学院

岩崎千晶・岸磨貴子・尾崎一郎・近藤隆祐・花田千苗・藪内貴聖・吉元沙知・萬萌絵・

大城茉美・細見千秋・正路盛也

MTG HP: <http://www.med.kutc.kansai-u.ac.jp/~meetg/>

MTG ブログ: <http://d.hatena.ne.jp/MTG08/> (サポートの様子の一部はこちらのブログからどうぞ)

ご意見・ご感想・配信停止: meetg08@yahoo.co.jp (送信時には@を1つにしてください)

Copyright(C)2008 Meet the GLOBE Project

